



暴追だより

(公財)岐阜県暴力追放推進センター

令和8年 3月 18日

No.146

058(277)1613



岐阜県暴追
センターHP
QRコード

相談事例から



【相談の概要】

岐阜県に本社があり、県外にも営業所を多数展開している会社からの相談でした。県外のA営業所に電話が掛かり、その営業所に勤務する従業員Bに替わるよう告げられたため、Bが電話に出ると相手は「あなたの子供にお金を貸しているので至急返してほしい。」と長時間の電話を何度も掛けてきた。



電話を掛けてきた人物は、名前等を一切名乗らず、電話番号非通知で毎回掛けてくる。B及びBの子供にも確認したが、お金を借りている事実は無いことが分かったが、何度も執拗に架かってきて業務に支障も出てきたことから、地元の警察署に相談し、同営業所の電話を「非通知拒否設定」にしたところ、A営業所には電話が掛かってこなくなったが、本社に非通知電話が頻繁に掛かるようになり、内容からA営業所に非通知電話を掛けてきていたと



思われる者からでした。非通知電話には出ないで放置しておく、本社の契約している複数の電話回線全部に一斉に非通知電話を掛けて、電話に出るまで呼び出しを続けるため、業務に支障が出てきて困っている。

【教示の概要】

- 1 電話に出る際には、毎回確実にナンバーディスプレイを見て、番号非通知か確認する。誤って番号通知で掛けてくることも考えられる。



- 2 相手の氏名等を確認する。会話の冒頭では必ず聞く。
- 3 通話内容を録音するか、メモを確実に取る。
- 4 電話番号非通知拒否設定の検討をする。

- 5 嫌がらせ電話は、偽計業務妨害になる可能性もあるので、当センターから連絡を入れておくので地元警察署に相談する。
- 6 相手の住所・氏名や電話番号などがわかれば、弁護士に依頼して「架電禁止の仮処分」を裁判所に申立て對抗することができる。

【結果】

相談者は、地元の警察署に相談に行き、警察からも提案を受け「電話番号非通知拒否設定」にしたところ、以降、嫌がらせ電話は掛かってこなくなった。

例「おそれいりますが、電話番号の前に186をつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直してください。」



【余談】

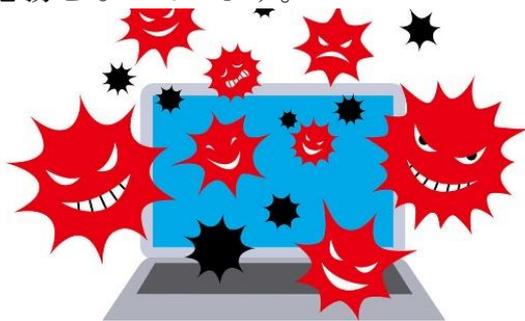
電話機は進化してきており、カスタマーハラスメント対策として、迷惑電話防止機能付き電話機に切り替える事業所が増えてきています。迷惑電話防止機能とは、

- ①着信前警告 着信音が鳴る前に相手に警告メッセージを流し、通話が録音されることを伝える。
- ②自動通話録音 通話内容を自動で録音し、後から聞き返したり、警察などへの相談に役立ちます。
- ③着信拒否 非通知やフリーダイヤルからの着信、迷惑電話データベースに登録された番号からの着信を自動で拒否する。
- ④お名前確認 電話に出る前に相手に名乗るよう促すメッセージを流し、知り合いからの電話のみに対応できるなどがあります。

取引先サイバーリスクの新局面

～供給網（サプライチェーン）全体での対策の重要性～

昨年、大手食料品製造・販売メーカーや事務用品販売メーカーがランサムウェアによるサイバー攻撃を受け、大規模なシステム障害が発生し、受注・出荷業務や工場の稼働が一時停止する事態となり、個人情報も流失してしまうなど、甚大な被害が発生してしまいました。被害を防止するための対策が急務となっています。



1 背景（何が起きているか）

日本経済新聞の調査によると、取引先のサイバー対策まで把握・管理している企業は約3割にとどまる一方、実際のサイバー被害の5割超は取引先や委託先を経由して発生しています。

国は2026年度から、企業のサイバー対策を3段階で評価する制度を導入予定であり、企業には自社だけでなく取引先を含めた管理が求められる時代に入っています。

2 なぜ「取引先」が狙われるのか

近年のサイバー攻撃の特徴は、セキュリティ対策が比較的弱い中小企業や委託先を経由して本来の標的（大企業・重要組織）に侵入する、という手法が主流になっています。

自社のシステムがどれほど堅牢でも、取引先のID・アカウント・通信経路が入口になることで被害が発生します。

3 企業への影響

2026年以降、国の評価制度が始まると、**サイバー対策が不十分な企業→大企業の取引先として選ばれにくくなる**

→業務委託・調達から外れる可能性が高まる

サイバー対策は、企業の信用力・取引継続力に直結する経営要素になりつつあります。

4 サイバー対策の重要性

サイバー対策は、IT部門だけの問題ではありません。取引継続や経営

の信頼性に関わる問題であるという視点を共有することが重要です。



5 最近増えている詐欺メール

社長や取引先を装った「なりすましメール・LINE」による詐欺も増えています。

「至急送金してほしい」

「LINEグループを作って、このLINEでやり取りしよう」

「支払い案件が発生したので、この口座に振り込んで」

といった連絡が来た場合は、必ず別の連絡手段で本人確認を行うことが重要です。これは特別なIT対策ではなく、日常業務の確認ルールで防げるサイバー被害です。

区分所有者集会の開催

岐阜市小柳町に5軒が連なる建物の一角を当センターが所有し、1階部分は岐阜中警察署柳ヶ瀬地区特別警戒所となっている建物についての話です。

当センターが所有することとなった経緯は、平成18年に空き家であった建物の一角を暴力団組長が購入した以降、建物前の道路での組長の出迎えや違法駐車などの迷惑行為が相次いだことから、監視の目を光らせるため平成24年に暴力団組長が所有する建物の隣の一角を当センターが購入し、警察官が駐在する警戒所を設置しました。

さらに岐阜県弁護士会からの助言を受け、区分所有法（通称マンション法）に基づき建物の管理規約を作りました。管理規約には、①建物の所有者が暴力団などの反社会的勢力に属すること。②建物を暴力団組事務所として使用すること。などを禁止する暴力団排除条

項が設けてあり、これらに違反すると1日当たり数十万円の違約金を支払わなければならない場合もあるというものです。



この暴力団組長は、その後、病死したため建物は現在空き家となっていますが、組長の親族が所有者となっているため、動向を注視しています。

区分所有法に基づいた区分所有者集会を年一回開催することとなっているため、1月に13回目の集会を無事終えたところです。

令和8年全国地域安全運動・全国暴力追放運動

ポスター・標語・青パト写真を募集します！

課題	ポスター	様々なかたちの防犯ボランティア活動～防犯ボランティアの裾野の拡大と活性化を目指して～	
	標語	暴力団のいない社会づくり	
	青パト写真	青色回転灯等装備車の活躍	
応募資格		岐阜県内に在住・在学・在勤される方（標語は高校生以上）	
応募の きまり	応募作品の裏面に住所、氏名（フリガナ）、年齢、電話番号、職業又は学校名・学年を明記してください。		～昨年の作品例～ ☆ポスター
	ポスター <input type="radio"/> デザインは、四切サイズ（540mm×380mm）の横描き（規格外は審査対象外となりますのでご注意ください。） <input type="radio"/> 作品にスローガン（キャッチコピー）等の文字は入れないでください。		 ☆標語 ・地域力 高めて追い出す暴力団 ・まず相談 地域で排除暴力団 ・見逃すな 暴力行為 皆の目で ・暴力団を 勇気を出して 断固拒否
	標語（キャッチコピー） <input type="radio"/> 応募は、一人1点 <input type="radio"/> 郵便はがきまたは、はがき大の1枚の用紙に、縦書きで一枚の用紙に1点のみお書きください。		
青パト写真 <input type="radio"/> 応募は一人2点まで <input type="radio"/> カラープリントA4サイズ（規格外は審査対象外になりますのでご注意ください。） <input type="radio"/> デジタル写真可（ただし印画紙にプリントしたもの） <input type="radio"/> 作品の裏に応募用紙を貼付してください。 <input type="radio"/> 青パト所有団体の許可を得て応募してください。個人を特定できる写真の場合は必ず肖像権について本人に許可を得てください。			
送付先		住所地又は通学・通勤先を管轄する岐阜県内の警察署生活安全課・各地区防犯協会	
締切り		令和8年5月8日（金）（必着）	
入賞と表彰 （県内審査）		<input type="radio"/> ポスターは、「小学生以下」「中学生」「高校・一般」の各部分で、それぞれ金賞1、銀賞1、銅賞1の作品を表彰します。 <input type="radio"/> 標語（高校生以上）は、金賞1、銀賞1、銅賞1の作品を表彰します。 <input type="radio"/> 表彰は、入賞者の住所地、通学・通勤先を管轄する警察署単位で行います。 ※ 既に発表された作品と、同一又は極めて酷似していることが判明した際は、入賞を取り消すことがあります。 <input type="radio"/> 青パト写真の県内審査は実施せず、全作品を全国防犯協会連合会主催の審査会に応募します。	
入賞決定 ・発表等		<input type="radio"/> 入賞作品は、岐阜県防犯協会・岐阜県暴力追放推進センターの広報誌及びホームページや各地区防犯協会の広報活動等で活用します。（お名前・学校名・市町村名等を掲載することを承諾のうえ応募してください。） <input type="radio"/> 入賞作品の著作権は、主催者及び全国防犯協会連合会に帰属します。（ポスターのほかチラシ、カレンダー等を作成します。） <input type="radio"/> ポスター・標語の入賞作品は、公益財団法人全国防犯協会連合会主催の審査会に応募します。 <input type="radio"/> 全国防犯協会連合会主催の審査会で選ばれた作品は、ポスター等を作成して全国各地に掲載し、青パト写真はデータ（CD-R・DVD）の提出を求めます。 <input type="radio"/> 全国防犯協会連合会主催の入選結果は、同連合会広報誌、全国暴力追放推進センターの機関誌、ホームページで発表します。（お名前、学校名、市町村名等を公表します。） <input type="radio"/> 応募に関する個人情報、本事業の運営上必要な限りにおいて使用いたします。	

《主催》
 公益財団法人岐阜県防犯協会
 公益財団法人岐阜県暴力追放推進センター
 岐阜県警察

《後援》
 岐阜県教育委員会

岐阜県暴力追放推進センター宛

FAX 058-277-1366

令和8年全国地域安全運動・全国暴力追放運動 標語応募用紙

課題『暴力団のいない社会づくり』

(高校生以上対象)

応募作品	
住所	〒 TEL ()
ふりがな 氏名	
連絡先	TEL ()
職業	

過去全国最優秀作品

令和7年度 無くそう暴力団 地域のために 未来のために

令和6年度 暴力団 断ち切る勇気が 未来を創る

令和5年度 大丈夫? バイトのつもりが 詐欺加担